

■京都市の目指す子ども像■伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を創造する子ども

【学校教育において重視する視点】～中学校教育～

- 1 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 2 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にできる態度を育成する
- 4 「公共の精神」に基づく態度を育成する

【学校運営の柱 ～全教職員が進める確かな学校教育～】

- 1 子どもの命を守りきる
- 2 すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点を持って実践を進める
- 3 教育者としての職責を自覚し、資質・指導力を高めるとともに、働き方改革を進める
- 4 校種間連携・接続を推進する
- 5 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う
- 6 保護者・地域と連携・協働した取組を推進する
- 7 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する

【『生きる力』を育む基本的な考え方～知・徳・体の調和のとれた育成～】

○「確かな学力」の育成

- (1)社会とのつながり・接続を実感できる授業への改善
- (2)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (3)言語活動の充実
- (4)探究活動を通じた、主体的・対話的で深い学びの実現
- (5)グローバル化時代に対応する実践的な語力の育成
- (6)LD等支援の必要な子どもの学力向上

○「豊かな心」の育成

- (1)道徳教育の充実
- (2)伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- (3)規範意識の育成
- (4)多様性を理解する姿勢の涵養
- (5)支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

○「健やかな体」の育成に向けて

- (1)運動やスポーツの実践と体力の向上
- (2)保健教育の充実
- (3)飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- (4)安全教育の充実
- (5)食に関する指導の推進

■ 北野中学校

I 学校教育目標

「自他を大切にし、心豊かな未来を拓く力を育てる」

II 育成したい資質・能力

1. 人権尊重の精神を基盤に、互いを認め合い高めあうコミュニケーション力
2. 知識・技能を身に付け、困難に立ち向かう課題解決能力
3. 地域社会に貢献できる自発的な行動力

III 重点課題

1. 学力向上を目指す指導方法や指導体制の工夫改善を図り、確実な進路保障
2. 「言語活動」を中心とした『主体的・対話的で深い学び』への取り組み
3. 個々の子供の課題を明確にし、その子の特性に合った学習支援の実施
4. 道徳教育の指導と評価の充実により、支え合い高め合う集団づくりの推進
5. 生徒の「命を守りきり、育む」教育の推進
6. 多様性を理解し認識する力の育成
7. 自らの健康、保持増進を図り、望ましい生活習慣を実践できる資質の育成
8. 教育者としての職責を自覚するとともに、その専門性を高める
9. 【よんきゅう絆プロジェクト（4中9小一貫教育）】の推進

